

立会だより

第497号令和3年7月1日
品川区立立会小学校
校長 滝淵 正史
電話 3474-3424

本校の特別支援教育

校長 滝淵 正史

少し硬い表現から始まり恐縮です。特別支援教育について、学習指導要領では「教育上特別の支援を必要とする児童に対し、障害による学習上又は生活上の困難を克服するための教育（学校教育法）」「主に集団の場面で必要な指導や援助を行うガイダンスと、個々の児童の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカウンセリングの双方により、児童の発達を支援（総則）」と示されています。つまり、特別支援教育とは、特別に支援が必要な児童だけを取り出して行われる教育なのではなく、個々の発達の（身体的課題も当然含みます）特性に応じて、必要な支援を行うことで、状況や場面により、必要に応じて誰もが対象となる教育であるということです。

本校には、「にこにこルーム」という特別支援教室があり、鯉浜小学校の訪問指導担当教員が来校して、教室を利用している児童に対する指導を行っています。この教室は、例えば、「言われたことは理解できるけれども、その時思ったことをうまく表現することが苦手な児童」や、「勉強が特に苦手なわけではないけれど、字を書くことが苦手な児童」、「学級の児童全員に対する指示だと聞き洩らしたり、集中が続かなかつたりということがある児童」など、学級という集団生活の場面になると、ある面の課題が顕著になる児童が、週に1～2時間程度、特別のプログラムによる指導を受けるところです。

ここでの指導は、「勉強が分かるようになる」ことを目的としているのではなく、まずは、自分が何に困っているのか、どんなことが苦手なのかといった自己理解から始めます。時間をかけて自己理解が進むと、次のステップとして、その苦手を克服するための対処法を、先生と一緒に考え、身に付けるための取り組みを繰り返します。集団生活でうまくいかないことが多い児童にとって、教室を利用し始めたころは、「どうせ自分なんか…」と自己否定の感情が強いことが多いですが、自分の課題を認識したり、対処法を身に付けようと意識したりするようになると、少しずつですが自己肯定感が高まっていくことが分かります。ある時、気が付くと「学級での過ごし方が前よりもスムーズになりましたね」ということが、本当によくあるのです。

この課題克服の考え方は、何も特別支援教室を利用しているお子さんに限った話ではありません。自分を振り返ってみると、得意なことと苦手なことがはっきりしていることに気がきます。例えば、私事のお恥ずかしい話で恐縮ですが、私は聞いただけでは忘れてしまうことが多く、後になって困ることが若いころから度々ありました。ですから、問題を大きくしないために、意識的にメモを取る対処を身に付けました。どんなこともそつなくこなすことができる人の方が圧倒的に少なく、誰もが多かれ少なかれ、何かしらの課題を抱えています。児童であれば尚更です。

特別支援教育というと、障害の有無を含めて特殊な話のように聞こえるかもしれませんが、決してそうではなく、それぞれの人が自分の課題に気づき、そして向き合い、課題解決のための対象法を身に付けようとする、そして、学校（場合によっては社会）の中で、相手の特性を理解し、その努力を支えあう関係を作っていくことなのではないかと考えています。

友達のことを、例えば結果から「集中力が足りない人だ」と厳しく評価するのではなく、「取り組み方を工夫して、少しずつ集中できる場面が増えているね」と途中経過を含めて認め合える関係を築くことができたなら理想だと思えます。そのような友達の見方、認める関係を増やしていくことが、特別支援教育なのではないかと考えています。難しいですが、学校は、支援の在り方を含め、そこを目指しています。

7 月 行 事 予 定

【生活目標】

日	曜	学 校 行 事 等
1	木	保護者会(低) 安全指導・安全点検
2	金	保護者会(高)
3	土	土曜授業 いじめ防止推進デー ブックフェスタ
5	月	授業参観A 避難訓練 会社活動
6	火	授業参観B
7	水	全校朝会 音楽朝会 4時間授業
8	木	授業参観C
12	月	クラブ活動 イングリッシュウィーク
13	火	児童集会
14	水	全校朝会
15	木	4時間授業(3-1のみ5時間授業)
16	金	えんぴつ教室(2年)
19	月	大掃除 5時間授業
20	火	1学期終業式 給食有 4時間授業
21	水	夏季休業始
26	月	進路三者面談(6年)～30日(金)
8/26	木	学校連携観戦1,2年
9/1	水	2学期始業式 給食有 4時間授業 学校連携観戦3,4年
2	木	学校連携観戦5,6年
3	金	安全指導・安全点検
4	土	土曜日授業 読み聞かせ いじめ防止推進デー 美しい日本語の話し方教室(5年) 自転車シミュレーター(4年)

【安全に気を付けましょう】

- ・夏を元気にすごしましょう(保健)
- ・安全に気を付けながら、清掃しましょう(清掃)
- ・好き嫌いしないで、健康な心と体を作りましょう(給食)

☆ブックフェスタ 3日(土)

8:35~11:30

本に関するワークショップを開き、本の世界の楽しさに触れ、本に興味・関心をもつとともに、相手を意識して話したり聞いたりする態度を養います。今回も残念ですが参観は実施いたしません。

☆体育学習時の下着の着用について

本校では、体育を実施する際に、男女の別なく、体育着の下に肌着を着用するように伝えています。ただし、運動に影響の出るような生地が厚いものや体育着からはみ出すようなものは、避けるようお願いいたします。

☆パラリンピック観戦について

現時点で、区教育委員会から、具体的な情報提供はありません。当初の予定では、本校は次の日程・内容が指定されています。観戦希望等については、詳細が示された時点で改めてお知らせします。

- 1・2年生 車いすバスケットボール
8月26日(木) 14:45～
会場：有明アリーナ
- 3・4年生 車いすテニス
9月1日(水) 11:00～
会場：有明テニスの森
- 5・6年生 車いすテニス
9月2日(木) 12:00～
会場：有明テニスの森

児童の観戦が実施される場合、保護者の皆さまの中から、引率ボランティアをお願いする予定でいます。詳細は後日ご連絡します。

☆立会応援団(校区教育協働委員)の紹介

たちあいコミュニティ・スクールは、学校支援本部と立会応援団(校区教育協働委員)の2つの組織があります。立会応援団は、6回の協議会を行い、ご意見をいただいています。委員を紹介します。敬称略

- ◆委員長 中村和弘(東京学芸大学教授)
- ◆委員 藤安義雄(有限会社 田舎の学校)
- 加藤雅之(NPO まちづくり大井事務局長)
- 伊藤行雄(東大井月見台町会長)
- 中澤光郎(同窓会会長)
- 竹内正治(PTA会長)
- 田口 愛(前PTA会長)
- 林田恵子(スクールサポートスタッフ)
- 柳岡裕幸(浜川中学校校長)

☆工事のお知らせ

夏休みから、外壁工事と屋上改修工事が始まります。9月末までの予定です。児童の安全には、十分に配慮して行います。ご理解ご協力をお願いします。

☆サマースクール

昨年度に引き続き、実施いたしません。よろしくお願いたします。